



第一回

# 高嗜好食 スイーツ 懇談会

テーマ：○○が、すごく幸せになる◎◎

○○に人、◎◎に食べ物を入れ、  
「食における幸せとは何か」を、楽しくかつ真剣に深める会

開催日時：2021年4月30日(金) 18:00～19:30

開催場所：甲子園大学 栄養学部(宝塚市紅葉ガ丘10-1)

# 第一回 高嗜好食スイーツ懇談会 2021年 4月30日(金) 18:00~19:30

このたび、甲子園大学の教職員と食にかかわる各分野で活躍されている有志の方々を中心とする、高嗜好食・スイーツ懇談会を立ち上げました。

この懇談会の目的は、甲子園大学の教学資源を研究や社会連携に展開しながら、有識者間のフランクな情報交換や、食品の試作と意見交換、などを介した自由闊達な懇談の場を開設し、嗜好性の高い食品の開発に向けて実践と理論の両面からアプローチすることにあります。

食は人間の真の幸福を実現する有力な手段であり、食の研究や実装を通じて、ハッピーで持続可能性のある人間社会をより強化してゆくはずと甲子園大学は考えております。

本懇談会を立ち上げる背景には、例えば、料亭料理、高級な肉、和洋の菓子類やスイーツなどが懸命に追及する食の高度の嗜好性（おいしさ）を科学的に説明するという学術的な興味に加えて、食の科学と食品産業や食品開発、あるいは情報や経済との連携によってより高度の食の生産・開発や流通、食の文化の実現を可能にすることへの期待があります。食の中には、嗜好品と称される高度の嗜好性を求めるジャンルがありますが、その定義は必ずしも明確なものではなく、非常においしいという消費者の反応を得ることを目的とした開発努力によって料理や食品、菓子類が生み出されています。しかし、この基本原理である高度のおいしさは、食品成分とそれを受諾する人間との関係性のみ現れる刹那的な脳の感覚です。その実態については十分な科学的解明がなされておらず、生産現場の長年の経験の蓄積や直観的なセンスなどによって製品や料理が模索されているのが現状であると思われま

す。競争の厳しい中で、食の開発者はとすると孤独な努力を強いられることが多いと想像いたしますが、そんな中でも、異分野の方々との何気ないやり取りや、交流のなかった他分野の先端的な発想などが思わぬヒントになることはしばしば経験されてこられたことと存じます

本懇談会は、食に関する様々な分野の専門の方々による自由な懇談の中で、より高度なおいしさを実現するヒントや原理・法則が見出されることを狙っています。そのため、参加者は、食品化学や食品加工研究社、農学者のほかに、料亭やレストランのご主人、食品企業や菓子業界の研究者、開発担当者、経営者、原料メーカー、マスコミ関係、著名な菓子技術者など、できるだけ多彩な、経験豊かで意欲的な方々にお声がけしています。すでに多くの賛同の声をいただいています。このような背景のもとで、開設を予定している「高嗜好食・スイーツ懇談会」では、毎月一度程度、宝塚市内の会議室で懇談会を開催します。

数か月くらいの期間で共通の課題を設定し、様々な分野の方がそれを食にかかわる形で自由に表現して披露し、意見交換を行うような形を考えています。

共通の課題とは、例えば、「コロナ禍の今日、『とびっきり幸せな食』とはどのようなものか」というようなものです。数か月あるいは半年ごとに新しいテーマを考える予定です。

ご自身のジャンルの中で考えてアイデアや試作品を発表し意見交換を行い、最終的には外対外発表に向けた試作を試みる、などという感じです。

年に一回をめぐりに宝塚市民に向けて成果発表を兼ねる試食会ができればいいと考えています。本懇談会が、いつの日にか我が国の嗜好性食品の本拠地に発展することをめざします。

緩やかな、しかし真面目な懇談会です、皆様のご参加をお願いいたします。

高嗜好食・スイーツ懇談会

主催

伏木 亨

## 会場へのアクセス

甲子園大学  
Koshien University

〒665-0006

宝塚市紅葉ガ丘10-1

### 主要交通機関

- ・JR宝塚線「宝塚駅」下車 徒歩20分、専用送迎バス（無料）で約7分
- ・阪急今津線「宝塚駅」下車 徒歩20分、専用送迎バス（無料）で約7分
- ・阪急今津線「宝塚南口駅」下車 徒歩20分、専用送迎バス（無料）で約7分

